

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設管理者	七沢森林公園
指定期間	公益財団法人神奈川県公園協会
施設所管課	H21. 4. 1 ～ H27. 3. 31
	都市公園課（厚木土木事務所）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

A

<判定理由>

植物管理や施設管理が行き届いており、伐採木の有効活用、地域と連携した取組み、落葉掻き等のヤマビル対策など、来園者の視点に立った、提案を上回る優れた取組みを実施し、広報活動にも積極的に取組むことにより公園の魅力向上が図られている。また、上記取組みを実施しつつも良好な収支状況であり、利用者満足度調査結果や苦情の対応状況も良好であることからA判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月12日	11月30日	○	○	○	無	
11月	12月10日	12月26日	○	○	○	無	
12月	1月10日	1月30日	○	○	○	無	
1月	2月8日	2月28日	○	○	○	無	
2月	3月8日	3月25日	○	○	○	無	
3月	4月10日	4月30日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	<p>快適な利用環境の確保・施設全般の安全管理 植物管理を以下のとおり実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャクナゲ管理</li> <li>・高木管理</li> </ul> <p>施設管理を以下のとおり実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常巡視（園内全域：毎日：公園職員）</li> <li>・施設点検パトロール（園内全域：年1回：公園職員）</li> <li>・重点点検（重点箇所：随時：公園職員）</li> <li>・遊具安全点検（遊具：月1回以上：公園職員）</li> <li>・遊具定期点検（遊具：年1回：専門業者による）</li> <li>・各施設・法定点検（各施設：各施設ごと：公園職員または専門業者）</li> </ul>	<p>①植物管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当園の名所となっているシャクナゲを維持するため、シャクナゲの日陰となっている木を伐採した。</li> <li>・高木で、倒れると人家等に被害が生じる場所について、厚木土木事務所と協力して委託等により、伐木等の対応を行った。</li> <li>・快適な環境を提供するために、広場等の芝刈りや園路沿いの草刈りをこまめに行った。</li> <li>・ヒガンバナを管理事務所前に集中的に移植して野草の名所づくりを行った。</li> </ul> <p>②施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内施設は点在しているが、管理が行き届いており、来園者の満足度が高い。</li> <li>・提案した点検を着実に実施し、階段の破損など危険な箇所を発見した場合は迅速に対応しており、来園者の安全確保が図られている。</li> <li>・施設の不具合による事故は発生していない。</li> </ul>

	提案内容	実施状況
2	<p>ゼロエミッションへの取り組みによる植物管理 公園内の間伐材等を用いて、以下を実施する。</p> <p>①園内整備への活用 ②炭をつくり、バーベキューに活用 ③薪を使った野外料理イベントを開催 ④間伐材を炭にして、トイレの消臭材等に活用 ⑤木酢液をヤマビル対策へ活用 ⑥落ち葉を集積し、カブトムシ等の生息場所の創出</p>	<p>園内の発生材はすべて園内処理しており、徹底した循環型管理が当公園の特色となっている。</p> <p>①森林整備により発生した間伐材は、職員が製材して土留め板、ベンチ、クラフト材料にし、枝はチップ化して整地に活用するなど、園内整備に使用している。 ②炭を約3,300kg生産し、バーベキューの燃料を100%まかなっている。 ③月2回、薪を用いた野外クッキングを実施している。 ④指定管理者が炭焼窯を作成し、間伐材を炭にして、トイレの消臭剤や土壌改良材として活用している。 ⑤木炭化の過程で発生する木酢液を園路に散布し、ヤマビル対策に活用している。 ⑥園内6カ所に堆肥ボックスを作成し、落ち葉を集約し、昆虫の生息場所を創出している。</p>
3	<p>イベントや住民参加、ボランティア団体による協働の取り組み</p> <p>①森のまつり ②アウトドアフェスタ ③里山保全、健康作り、自然体験、 ④自然音楽、文化継承 ⑤美化運動 ⑥七沢温泉郷と連携した、観光資源の創出。 ⑦その他</p>	<p>①11月3日 参加者17,000名 七沢観光協会と共催で、草笛、オカリナ演奏やチェーンソーアート、縄文土器野焼き、野外クッキング、「厚木市森林づくりボランティア協会」と連携した子供たちの間伐体験を実施し、盛況であった。 ②11月23～24日 参加者3,000名 丸太切り、薪割り体験、キャンプ用品、森林セラピー等の催しを市で開催し、盛況だった。 ③里山保全の森林管理を、地元ボランティア団体と協働で実施するとともに、NPO団体との協働でノルディックウォーク教室等を実施した。 ④玉川アルプホルンクラブと協働で森の癒しコンサートを実施し、民話の語りやわらべ唄による文化継承を実施した。 ⑤花壇の苗植えを、地元の幼稚園と協働で実施した。 ⑥バーベキュー利用者などには七沢温泉郷の日帰り入浴割引券を配布し、七沢温泉宿泊者には、クラフト体験やバーベキューの割引券を配布した。 ⑦お茶会、竹トンボ作り、ミニ門松作り教室、せんみ凧作り、お雛様作り教室等多くの自主イベントの実施により、利用者が昨年同期より5,067人増加した。また、12月にはクリスマスライトアップを地元商工会と共催で実施した。</p>
4	<p>楽しく快適な利用環境の確保 園路やおおやま広場などの芝生にもヤマビルの進入があるため、以下を実施する。</p> <p>①芝刈り等の徹底による乾燥状態の確保。 ②園路等への忌避剤の散布。 ③利用者に対する忌避剤の提供。 ④その他</p>	<p>次の対策により、ヤマビル被害が23年度10月～3月の7名が、平成24年度の同期で2名に減少した。</p> <p>①ヤマビルの生息しにくい乾燥状態を確保するため、芝刈り、草刈り、落ち葉掻きを徹底して行った。 落ち葉掻きは市シルバー人材センターに委託した。 ②園路等には、木酢液などのヤマビルの忌避剤を散布した。 ③ヤマビルの注意看板を設置し、13カ所に忌避剤として食塩と食酢を置いた。 ④ヤマビル増加の原因である大型野生動物の生息調査を行い、このデータをもとに当所が、防鹿柵の開口部への扉の設置と、管理捕獲(シカ19頭イノシシ7頭)を行った。</p>
5	<p>利用促進のための広報の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの改編と更新</li> <li>・園内掲示板</li> <li>・パンフレット</li> <li>・厚木市広報</li> <li>・観光協会等との連携</li> <li>・ミニコミ誌等</li> </ul>	<p>①見やすく分かりやすいホームページに改編し、常時更新した。七沢森林公園サイトおよび公園協会サイトで公園情報(場所、特徴、利用案内)や季節の見頃・見所情報をタイムリーに発信した。 ②園内の掲示板で、森のアトリエの体験案内やイベント情報などを掲示した。 ③事務所前のホワイトボード等で、花や鳥など旬の自然がわかるようにした。 ④パンフレット類を最新情報に改訂し、厚木市や地元観光協会等に配布した。 ⑤その他市の広報やタウンニュース等を活用して、広報活動を行った。 ⑥作成したチラシを厚木市立公民館、観光案内所、都市公園などで配布した。</p>

#### 4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		76,610	0	4,750	81,360	81,360	0
予算額	前年度	74,220	0	4,500	78,720	78,720	0
	上半期	37,746	0	3,300	41,046	41,046	0
	下半期	36,474	0	1,200	37,674	37,674	0
	今年度	74,220	0	4,750	78,970	78,970	0
	上半期	36,112	0	3,430	39,542	39,542	0
	下半期	38,108	0	1,320	39,428	39,428	0
下半期実績額	10月	5,798	0	507	6,305	5,623	682
	11月	5,943	0	661	6,604	6,635	▲ 31
	12月	8,596	0	0	8,596	7,326	1,270
	1月	5,451	0	0	5,451	5,277	174
	2月	5,341	0	0	5,341	5,967	▲ 626
	3月	6,979	0	0	6,979	7,514	▲ 535
	今年度 下半期合計	38,108	0	1,168	39,276	38,342	934
	前年度 下半期合計	36,474	0	1,098	37,572	40,110	▲ 2,538
	対前年度下半期比			③	4.5%	-4.4%	
参考	今年度 上半期合計	36,112	0	2,993	39,105	37,645	1,460
	今年度 合計	74,220	0	4,161	78,381	75,987	2,394

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

#### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等  
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	998	寸草亭上の沢の土留柵設置
下半期	3,433	もりの道の土砂流出対策等
合計	4,431	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	24,290 人	25,590 人	▲ 5.1 %
11月	43,471 人	45,238 人	▲ 3.9 %
12月	16,144 人	16,672 人	▲ 3.2 %
1月	18,541 人	16,393 人	13.1 %
2月	19,529 人	16,857 人	15.9 %
3月	22,781 人	18,939 人	20.3 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	118,000 人	129,158 人	133,487 人	9.5 %	▲ 3.3 %
今年度下半期計	107,000 人	144,756 人	139,689 人	35.3 %	3.7 %
今年度合計	225,000 人	273,914 人	273,176 人	21.8 %	0.3 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

## 8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
11月10日	落ち葉清掃中の職員が、エンジン式ブロー使用中にバランスを崩し、足の骨にヒビが入った。	再発防止に向け、事故対策のミーティングと作業前の注意喚起を行った。	維持管理作業にあたっては、作業の慣れ等による注意力欠如があるので、事故防止に向けて日々の指導が必要である。

## 9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
( )		
( )		
( )		

## 10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

七沢森林公園は、市街地から近く、森林の中をゆっくり散策できる緑豊かな里山公園として60種ほどのシャクナゲが咲く「シャクナゲ園」、工芸創作体験ができる「森のアトリエ」、バーベキューが楽しめる「ピクニック広場」、山里の暮らしが分かる「森の民話館」が人気の施設であるが、指定管理者の努力で植物管理や施設管理が行き届き、魅力的な運営が行われているため、来園者の満足度も高い。特に、「ゼロエミッションへの取組みによる植物管理」として公園の間伐材を使用して、土留め板など園内整備、薪を使った野外料理イベントの開催、炭を作って園内で活用し、炭焼きの際に出る木酢液をヤマビル駆除に活用するなど独創的な工夫を行っている点や、地域と連携したイベントを開催している点、落葉掻き、忌避剤の散布等の努力によりヤマビル被害を軽減している点が評価できる。

下半期は、シカやイノシシの被害軽減のため、当所が管理捕獲等を行ったが、指定管理者が生息調査、連絡、実施時の打合せなど積極的に協力したため、大きな成果を上げることができた。

今後ともこうした取組みを継続するとともに、さらなる工夫改善を行い、来園者数、特にイベントへの参加者数の増加につなげていくよう指導していく。